

# 県民だより

佐賀県  
<http://www.pref.saga.lg.jp/>

平成22年4月号 毎月発行 No.352

4月  
2010年

【特集】

## 地球環境や人に優しい野菜作り

①廃校を利用して無農薬野菜の栽培を

[昭和の学校 元気村]

②地球環境に優しい安全で安心な「さが」エコきゅうり

[JAさが佐賀みどり支部 施設きゅうり部会]



さがっ子体験シリーズ  
イチゴ狩り体験(唐津市)

vol.12

この季節、佐賀県内の観光農園ではイチゴ狩りを楽しむことができます。唐津市にあるイチゴ農園では果実の粒が大きいアイベリーの収穫を体験できます。

お問い合わせ 唐津駅観光案内所 ☎0955-72-4963

未来の佐賀を担う次世代の情熱人を紹介!!

ネクスト

ジエネレーシヨンSAGA

子どもたちの心に残る曲を作りたい

〈シンガーソングライター 弓削田健介さん〉

聴く人の心を癒やす優しいメロディーと歌声が印象的なシンガーソングライター『の弓削田健介さんに話を聞きました。』

「子どもたちの心にいつまでも残るような曲を作りたい」と語る弓削田さん



「子どもたちと一緒に歌いたい」  
大学入学時の夢は小学校教諭

弓削田さんは「音楽の授業で自分が弾く楽器の伴奏に合わせて、子どもたちと一緒に歌を歌いたい」と、小学校の教諭を目指して佐賀大学文化教育学部に入学しました。しかし、中学校、高等学校ではバレーボールに打ち込むスポーツ少年で、音楽とは懸け離れた生活を送っていました。音楽の授業をするためには、何か一つ楽器の演奏ができるようにならなくてはと小学生の時に習っていたピアノを再び始めました。その後は音楽サークルでジャズの世界にのめり込み、「3年生になるころにはピアノが随分上達していました」と弓削田さんは振り返ります。

いつまでも心に残る音楽は  
幼い時に歌った童謡

小学校の教諭を目指していた弓削

田さんが、プロの音楽家を目指すことになったのは大学3年生の時。知人に誘われて佐賀県立病院好生館の緩和ケア病棟（ホスピス）にボランティアで演奏に出掛けたことがきっかけでした。患者さんからのリクエストが多かったのが、子どもたちに誰もが口ずさんだ童謡でした。患者さんやその家族が童謡を聴きながら涙を流す姿を見て「いつまでも心に残る音楽は、子どもたちの心に歌った曲だと実感した」と弓削田さん。教育実習では音楽



子どもたちに、歌を通じて命の尊さを伝えるための活動にも取り組んでいる。弓削田さんの曲は<http://yugemusic.com>で試聴することができる

の授業で楽しそうに童謡を歌っている子どもたちの歌声に感動し、「子どもたちの心に残る童謡のような温かい曲を作りたい」とプロの音楽家を目指して大学院に進み、本格的に作曲の勉強を始めました。

歌い継がれる合唱曲を

大学院卒業直前、ちょうど音楽教諭への誘いがあり、心が動いたものの、それまでの音楽活動を通して出会った佐賀で活動している音楽家たちのように「自分の音楽を作りながら生活をしていきたい」とプロの音楽家の道を歩み始めました。

その後は演奏会やカフェ、結婚式での弾き語り、コマースヤルや地元の子どもミュージカル劇団への楽曲提供など活動の幅を広げてきました。また、近年は命の大切さを描いた絵本のテーマ曲を作曲し、作家と一緒に学校などを訪れ、子どもたちに命の尊さを伝える活動にも取り組んでいます。

「10年間続けたら専門家」と言った恩師の言葉が心に残っています。これからも1曲1曲を大切に作り続け、いつかみんなに歌い継がれる合唱曲ができたら」と夢を語る弓削田さん。「自分を支えてくれた人たちと、これからはつながってほしい」と自身の人生を大きく変えた佐賀を拠点に活動を続けていきます。



弓削田健介(1982年生まれ) 福岡県生まれ。演奏活動のほか、ミュージカルやコマースヤルの楽曲の提供、佐賀の音楽家を紹介する演奏会を企画するなど佐賀を拠点に活動中。